

## 重枝人生道場

2026・3・19 校長 重枝一郎

先月、近くの小学校の6年生全員に対して、「重枝人生道場」という題で、卒業前に講演をしてほしいと依頼されました。小学生相手は久しぶりだったので、ワクワクしながら行きました。私は、どんな伝え方が、小学生の心に火をつけるのかを、話しながら、その反応を見ながら、考え、話していました。

話としては、みなさんにも話したことのある「成長はたし算」の話をベースに、「異質のたし算マインド」、つまり「受け入れる力＝柔軟性」の大事さを語りました。小学生もよく反応をしてくれて、とてもいい時間になったと思います。

講演が終わって、校長室にいたら、一人の小学生が「質問したいんですけど」と訪ねてきました。以下、その小学生と私の会話のやり取りです。

(小)「重枝先生、今日は面白い話をたくさんしてくれてありがとうございました」

(重)「おう！わざわざお礼を言えるなんて、すごいな」

(小)「先生の話で、元気は出たのですが、僕はなかなか自分に自信が持てなくて悩んでいます。どうしたら自信を持てますか？」

(重)「そうだな、例えば俺と君が4時公園集合って約束したとするやん。その約束を俺が平気で破ったら、君はどう？」

(小)「頭に来ます」

(重)「そうだよな。俺は君から怒られるよな。君という相手との約束、つまり相手との信頼関係を破ると、相手から怒られるから、なんとか約束を守ろうとするよね」

(小)「はい」

(重)「自信という文字を書いてみて。自分との信頼関係のことって考えてみて。相手との信頼関係は破ると相手から怒られるけど、自分との信頼関係は破っても、誰からも怒られないよね」

(小)「はい」

(重)「自信を持つということは、自分との信頼関係を守るということで、それを破っても、誰からも怒られないから、つい甘えてしまう。自分の中の約束は、結構簡単に破ってしまう。そんな経験ない？」

(小)「あります。今日は家に帰ってまず宿題をするって思ってもしなかったり、毎日1時間は机に座って勉強するって決めたのに、1日しか続かなかったり」

(重)「そうたい。自分との約束を守ることは、結構難しい。でも、自分との約束を守ることが“自信”ってことになる。自信って自分との信頼関係で、自分の中での約束を守ることを続けていたら、必ず自分に自信を持つことができるようになる」

(小)「そうか。自信を持つためには、自分との約束を守ることが大切ってことなんですね」

(重)「そう思うよ。俺も昔、自分で決めたことをやり遂げた時って、なんか強くなれた感じがしたのをおぼえている。小さなことでも、ささいなことでもいいから、自分との約束を守ってみたら、自信が持てるようになると思うよ」

(小)「なんかスッキリしました。ありがとうございました」

おそらく、彼は、自信を持つために、何をすべきかは、はっきりしたんじゃないかと思いました。もちろん他者から褒められたり、認められたりすることも自信につながります。でもそれは、そういう時もあるくらいで思っておこう。相手によるからね。ます

は、自分からの意識です。自分の内側の約束を守ることが、自信につながっていきます。これからも自分で決めて、その自分との約束を守る努力を続けてください。学校との約束破り、親との約束破り、先生との約束破りには罰のようなものがあるかもしれませんが、でも、自分との約束は、自分の心ひとつです。守ろうという強い意志が自信につながります。

4月には、自分との約束を守る、自信に満ち溢れる君たちを見られることを楽しみにしています。

お祈りをします

主なる神様

いつも生徒たちを守っていただいていることに感謝します

生徒一人一人が、自信を持てるようになるために、自分との約束を守れるように励ましてください。

そのために、常にそばにいて、その時々にはふさわしい知恵と勇気をお与えください

この願いを主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします

アーメン